



後援会会員募集!!

2021年 冬号

よみやま洋司通信

YOJI YOMIYAMA

もっと豊かに、もっと明るく、もっと楽に暮らせる延岡へ~「10の提言」~

1. コロナを乗り越える

(1) 感染拡大防止

- 市独自で整備したPCR検査施設をフル稼働、ワクチン接種の推進、「のべおかCOIN」によるキャッシュレス化の推進など

(2) 経済と暮らしの再生

- 緊急雇用対策や事業者支援、学資支援、生活支援、リモート対応支援などスピーディーできめ細かな対策の実施

2. 経済の底上げ・所得アップを実現

(1) 思い切った産業・雇用政策

- 「延岡経済リンク機構」により市内事業者の売上増や「外貨獲得」を促進
- 新産業団地や「デジタル団地」を整備し企業誘致をさらに拡大
- ワンストップ支援体制のもと起業・創業・第二創業を強力に支援



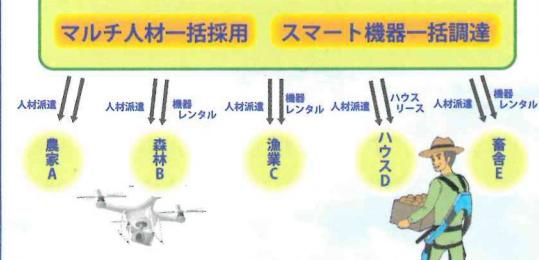
延岡駅前でワンストップ起業支援

起業に関する相談、学び、マッチング手続き、融資が一ヶ所で出来ます
3F 商工会議所 & 金融機関



延岡市農林水産業公社

マルチ人材一括採用 スマート機器一括調達



- 新たな人材確保支援策を実施

- 「延岡市農林水産業公社」設立や販路拡大、「農山漁村版ハローワーク」による人材確保や設備投資支援策などで第一次産業を強力に支援
- 「7S観光」(スポーツ、自然体験、神話・歴史、里帰り、食、産業、STEAM学習)の推進

(2) 「安く暮らせる延岡」づくりで市民の「現金収入」アップ

- 地域新電力会社設立による電気代の引下げ

延岡電力株式会社(仮称)によるお金の流れ



- バス代支援や免許証返納への支援を拡大
- 地域給水施設への支援強化

3. スマートシティ政策で都会との「3つの格差」をなくす

(1) 所得格差をなくす

- 「デジタル団地」によりIT企業をさらに誘致
- 自然豊かな所にワーケーション誘致
- スマート農林水産業・スマート製造業の推進

(2) 教育格差をなくす

- AIや同時双方向遠隔事業策により「誰一人取り残さない」延岡独自の学習を推進
- 「延岡こども未来創造機構」による新たな学びや「人間力」育成
- デジタル環境が整っていない家庭への支援
- 教員の多忙化解消

(3) 地理的格差をなくす

- 「空飛ぶクルマ」により救急救命力・防災力・産業力をアップ

『スマートシティ』で都会との教育格差を解消

慶應大学、東京学芸大学による同時双方遠隔授業



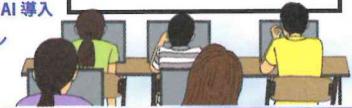
Hello

$$\begin{aligned} \frac{1}{4}x + \frac{2}{3} &= \frac{1}{3}x - 1 \\ \left(\frac{1}{4}x + \frac{2}{3}\right) \times 12 &= \left(\frac{1}{3}x - 1\right) \times 12 \\ 3x + 8 &= 4x - 12 \\ 3x - 4x &= -12 - 8 \\ -x &= -20 \\ x &= 20 \end{aligned}$$

AIで苦手箇所を早いうちに解消

1人1台 IT機器整備+AI導入

- ①論理コミュニケーション
- ②英語ディスカッション
- ③データサイエンス



フィードバック

3x + 8 = 4x - 12

-x = -20

x = 20

空飛ぶクルマで「救急救命力」、「防災力」、「産業力」

UP!



『市民行動データ』を活用したバス路線づくり及び避難所づくり

東京大学と連携



新型バスネットワーク



バス、乗り合いタクシーなど



バス停は楽しい
にぎわいの場に

周辺の商店
にも活気



延岡市街へ

4. 地球と暮らしにやさしい新たな交通システム「楽に暮らせる延岡」を実現

- 小型バスや乗合タクシー、シェアサイクルなどの組み合わせによる「地球と暮らしにやさしい」新たな交通システムの整備
- 交流の場にもなる「新型バス停」の整備

5. 誰一人取り残さない、安心と温もりの延岡づくり

(1) 「逃げ遅れゼロ」の防災対策

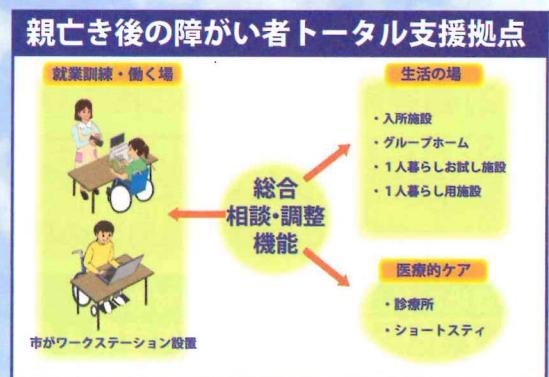
- 避難所のさらなる整備、避難要支援者への支援強化
- 消防団への支援強化
- 海岸やがけ地への対策強化、集中豪雨対策の強化

(2) 安心の「人生100年時代『幸』齢社会」づくり

- 健康づくりや介護予防事業、機能回復事業、フレイルケア※1を強化、さんさんクラブとのさらなる連携
- 「介護保険料・国民健康保険税の値上げストップ作戦」展開
- ごみ「ふれあい収集」の拡大
- 認知症カフェへの支援
- 介護・看護などの人材確保のための新たな支援策の実施

(3) 障がいのある人もない人も、誰もが安心の共生社会づくり

- 関係機関と十分協議しながら「新型病院構想」や障がい児・者対応診療所整備を推進
- 親なき後のトータル支援拠点を整備
- 「ワークステーション」を設立し、就労に向けた支援と行政改革の「一石二鳥」を展開
- 声をあげられない孤独・孤立を抱える全ての世代の方々やヤングケアラーへの支援強化



6. 延岡の未来をひらく

(1) 「子育てするなら延岡で」を実現

- きめ細かな子育て情報の発信や各種手続のスマート化
- 放課後児童クラブの受入増、新たな子育て支援拠点の整備
- 関係機関と十分協議しながら18歳まで医療費助成を拡大
- 多子世帯などの保育料の軽減拡大 ●保育人材確保のための新たな支援策の実施
- 遠距離通学者への支援拡大

(2) ゼロカーボン都市・SDGs先進都市をめざす

- 生ごみや事業系一般廃棄物の減量化の推進
- 省エネルギー建物・住宅・設備導入の推進
- 林業の一層の振興（川上・川中・川下における取組み強化）
- 新たな交通システムの整備
- 地域新電力会社における再生可能エネルギーの活用

(3) 歴史・文化の香るまちづくり

- 文化団体への支援拡大
- 城山周辺に古民家風カフェ整備、延岡城・内藤記念博物館～図書館・カルチャープラザ～城山公園～野口遵記念館の歴史・文化ゾーンの一体的な振興
- 市史編さんの推進 ●図書館の充実

(4) 女性活躍社会の推進

- 多様な働き方への支援
- 市の女性管理職20%以上をめざす
- 子育てや介護と仕事を負担なく両立できるまちづくり



7. にぎわいづくり・絆づくり

(1) 全ての世代がワクワクするまちづくり

- スポーツパークの整備
- Park-PFI^{※2}手法を活用し「オシャレで楽しい緑の空間」づくり
- 南延岡駅周辺整備
- 新たな空き店舗対策の実施

(2) アスリートタウンの再構築

- 野球場及び多目的屋内施設の整備推進
- 陸上競技場、プールの再整備に向けた取組み
- 全ての世代のスポーツ環境整備・支援

(3) 絆づくり

- ワーカーズコレクティブ^{※3}設立支援により全ての世代の地域協働を支援
- 区への加入促進、支援強化
- 空き家対策の強化

(4) 移住・定住やUターンの促進

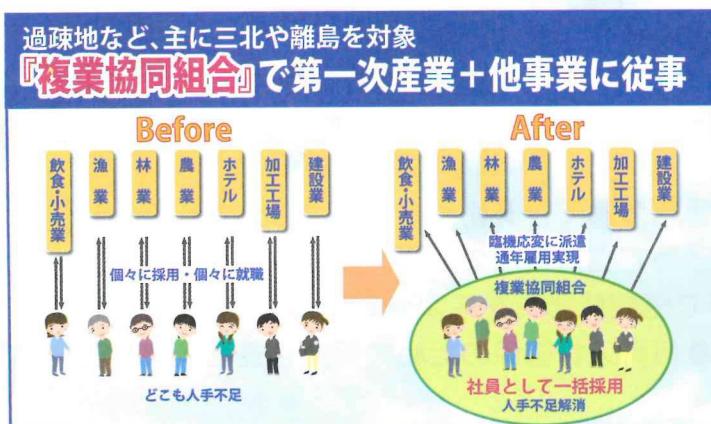
- 移住・定住の支援
- 「ふるさとで経営者に」事業による事業承継や起業への支援

※2 Park-PFI・・・都市公園において飲食店または売店等の公園施設の設置等を行う民間事業者を公募し整備する方法。

※3 ワーカーズコレクティブ・・・働く者同士、または地域住民などが共同出資し、経営に参画、コミュニティビジネスを展開。

8. 各地域の特性を活かした「新合衆国づくり」～「複業協同組合」の設立～

- (1) 三北各町でそれぞれ独自のまちづくりを行う。ユネスコエコパーク拠点施設整備及び温泉再整備
- (2) 島野浦・南浦地域の再生(美しい豊かな海を活かす)
- (3) 森と緑の南方エリア・黒岩エリアの再生(植物園再整備、大人も子どもも楽しめるログハウス整備など)
- (4) 土々呂などの南部地域の再生(海水浴場の再生、海の幸を活かす)



9. 県北・東九州の中心都市として

(1) 県北各市町村との連携強化

- 東九州クロスポイント構想の具体化(物流・人流・ITのクロスポイントとして延岡を発展させる)

(2) 大分県側との連携強化

- サイクルツーリズムの推進、D&S列車による観光誘客など

10. 「市民目線」の行政改革

- 市民の声をさらにキャッチする新たな制度を構築。出前市長室のさらなる開催
- RPA^{※4}をさらに導入し市職員の超過勤務時間を大きく削減
- ペーパーレス化の推進で効率アップ&市民負担軽減
- ESCO^{※5}事業の導入による光熱水費削減 ●外部人材の積極的活用
- 新電力会社設立、ガバメントクラウドファンディング^{※6}、ふるさと納税大幅増などによりさらに財源を確保

●「わかりやすい・伝わる広報」の展開 ●「延岡市公認ユーチューバー」制度

※4 RPA…ロボティック・プロセス・オートメーションの略。事務処理などを人の代わりにデジタルロボットが行い、作業時間の短縮やエラー削減等を実現。

※5 ESCO…Energy Service Company の略。事業者が省エネ改修工事等を提案し、削減された光熱水費からその工事費を確保。施設所有者は費用負担しなくて済む。

※6 ガバメントクラウドファンディング…特定の政策課題の解決のために地方自治体が具体的なプロジェクトを立ち上げ、共感した人たちから寄附を募るもの。

よみやま(読谷山)洋司のプロフィール

昭和39年生まれ、宮崎県延岡市出身(緑ヶ丘小学校、南中学校出身)

昭和61年…東京大学経済学部卒業

同一年…自治省(現在の総務省)入省。以後、同省財政局主査、大蔵省銀行局課長補佐、総務省大臣官房企画官、国連コンサルタント等を歴任

平成17年…愛媛県総務部長

平成20年…内閣参事官(緊急経済対策などを担当)

平成22年…岡山市副市長

平成24年…退官し延岡に帰郷、子育て支援会社を設立・経営、長崎県立大学教授・企業コンサルタントを兼務

平成30年…延岡市長就任。延岡、日向、佐伯、津久見、臼杵の5市政策協議会会長も務める。



よみやま洋司後援会事務所

〒882-0026 宮崎県延岡市柚の木田町1307

[TEL] 0982-27-5509 [FAX] 0982-27-5584